

第335回

日文研フォーラム

講師◎ 廖 欽彬
中山大学哲学系(中国) 准教授 / 日文研 外国人研究員

京都学派と戦前の台湾哲学

コメンテーター◎ 伊東 貴之
日文研 教授

司会◎ 呉座 勇一
日文研 助教

2020年3月10日(火) 十四時～十六時(開場十三時四十分頃)

ハートピア京都3階大会議室 入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十三時十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies

The 335th Nichibunken Forum

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研フォーラム

京都学派と戦前の台湾哲学

The Kyoto School and Prewar Taiwanese Philosophy

京都学派は戦前において日本哲学の最も代表的な知的グループであり、その影響力は、大日本帝国の膨張と相まって日本国内だけでなく、中国、韓国、台湾にまで及んでいました。このような背景の中、ヨーロッパ哲学と日本哲学を台湾に紹介し、台湾哲学の礎を築いたのが、当時、台北帝国大学哲学科に勤めていた洪耀勳です。

本報告は、洪耀勳と、京都学派の代表者である西田幾多郎、田辺元、務台理作、和辻哲郎との影響関係を中心に、戦前の日本と台湾との知的連関を説明することに努めます。その上で東アジアの哲学の未来図を描いていきます。

講師 廖 欽彬 中山大学哲学系(中国) 准教授 / 日文研 外国人研究員



2009年筑波大学人文社会科学部研究科(哲学・思想専攻)博士号(文学)取得。2009年より台湾・国立中山大学哲学研究所助理教授、2012年より中央研究院中国文哲研究所博士後研究員、2015年より中国・中山大学哲学系准教授。2019年8月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は、日本哲学、比較哲学。主な業績に『宗教哲学の救済論—後期田辺哲学の研究—』(台湾大学出版中心、2018)、『近代日本哲学における田辺元哲学—比較哲学と跨文化哲学の視点—』(北京商務印書館、2019)、『近代日本の中国学』(編著、台湾大学出版中心、2018)、『台湾哲学百年論叢 洪耀勳文献選輯』(編著、台湾大学出版中心、2019)などがある。

コメンテーター 伊東 貴之 日文研 教授



早稲田大学政治経済学部、同・第一文学部東洋哲学専修卒。東京大学大学院人文科学研究科中国哲学専攻博士課程修了。博士(文学)。武蔵大学人文学部教授などを経て、2010年より現職。専門分野は、中国近世思想史、日中比較文学・思想、東アジア文化交流史。主な著書に『思想としての中国近世』(東京大学出版会、2005)、『中国近世思想的典範』(楊際開訳・徐興慶校閲、台湾大学出版中心、2015)、『中国という視座』(溝口雄三・伊東貴之・村田雄二郎による共著、平凡社、1995)、『「心身/身心」と環境の哲学—東アジアの伝統思想を媒介に考える』(編著、汲古書院、2016)、『治乱のヒストリア—華夷・正統・勢』(編著、渡邊義浩・林文孝との共著、法政大学出版局、2017)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)に滞在中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介、交流の一助となることを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/>



日文研



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車